

おすすめ本を しょうかい ご紹介します



2026

5

月号

1〜2年生くらいから



しっぽはなんのためにあるの？

どうぶつのはたらきには
だいじなはたらきが
いっぱい。
しっぽがもっとおもしろく
みえてくるよ。

『しっぽのはたらき』
川田 健／ぶん 藪内 正幸／え 今泉 吉典／監修
福音館書店

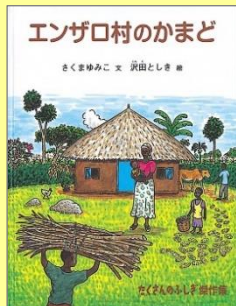


キャベツくんを
たべると…？
こうなる！

ひろいひろいせかいの
みちばたで、さんぽちゅうの
キャベツくんとおなかの
すいたブタヤマさんが
バッタリであいます。

『キャベツくん』
長 新太／文 絵 文研出版

3〜4年生くらいから



アフリカへつたわった
日本の「かまど」

ケニアのエンザロ村にひとりの
日本人が教えたこと、
それは「かまど」と「ぞうり」の
作り方。村がどんなふう
に変わったのか、村人のくらしを
のぞいてみよう。

『エンザロ村のかまど』
さくま ゆみこ／文 沢田 としき／絵 福音館書店

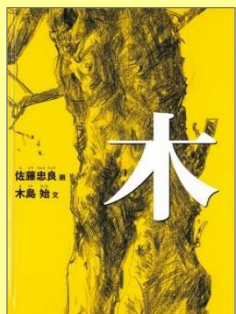


こんなパン、
たべてみたい!!

パンしょく人のくるみさん
には、今まで食べたことが
ない、いろいろなパンの
注文がまいこみます。
ほら、パンのやける
いいにおいがしますよ。

『つるばら村のパン屋さん』
茂市 久美子／作 中村 悦子／絵 講談社

5〜6年生くらいから



木は何を
考えている？

木の根っこ、こぶ、枝、
木の芽、若葉たち…
それぞれじっと見たことが
ある？ページをめくって
木のささやきに耳を
かたむけてみよう

『木』
佐藤 忠良／画 木島 始／文 福音館書店



私の町と学校に
そんな歴史が!?

さとこ
理子は、図書室でへんてこな
かっこうをした、しらが頭
のおじさんと、自分の町について
書かれた一冊の古い本に
出会う。町の過去のナゾをとき
理子がたどりついた答えは？

『空へつづく神話』
富安 陽子／作 広瀬 弦／絵
偕成社



編集：袋井市立袋井図書館